

教育現場からの声

インタビュー

本校は、1・2・3階にそれぞれ1台ずつ電子黒板を配備しており、タブレットはパソコン室に保管されています。県からの指導もあり、電子黒板と実物投影機の活用、慣れてきたら同時にタブレットを使った授業と段階を踏んで、授業を進める予定です。タブレットは主に調べ学習の時に活用しており、校内全体に無線LANを引いていたおかげで以前は、パソコン室でしかできなかったインターネットがタブレットさえあれば校内のどこでも、使える環境になりました。これを活用して最近では、文化祭のステ

津奈木中学校



ICT担当
まつもと ゆういち
松本 祐一 先生

ジ発表に使う資料なども生徒たちがICT機器を活用してまとめ、発表しました。
この環境整備は、生徒だけでなく私たち教師にとってもありがたいもので、今までは毎回、職員室に戻ってケーブルをつながなければ教師たちの共有ネットワークにつなげることができなかったが、どの教室でもつながることができるようになり、大変効率良く授業の準備をすることができま



タブレットで実験結果を撮影し記録として残します

津奈木小学校



かんまい たかお
上舞 隆夫 校長

絵を電子黒板に映すことで授業中に子どもから「おー！」という歓声がよく上がるようになりました。この歓声は先生にとつて、とても嬉しいもので、以前は、相当な時間と労力をかけて準備をしなければならなかったものです。授業の準備にかかる先生たちの時間・労力の削減にもつながり、効率の良い授業ができるようになりました。1時間の授業でICT機器を使用するのはほんの10分程度です。しかしその10分間子どもたちにとって中身の濃いものとなっております。



電子黒板を使っの理科の授業

平国小学校



ICT担当
まつむら ひでたか
松村 英隆 先生

本校では主に5・6年生の授業でICT機器を活用しています。1人のタブレットの画面が全員のタブレットと共有できるという利点を生かして、児童が発表をする際にタブレットで動画や写真を撮って他のタブレットに映し、自分の考えを発表する際に活用しています。そうすることで一回一回前にでなくても、自分の机で周りの子に説明ができ、授業の効率も上がっています。また、英語の授業ではアダム先生が電子黒板とデジタル教科書を使って授業をし、図工の時間では、写真を撮影して、その写真を使って絵を描きました。



机の上にパソコンが並ぶ新たな授業スタイル

今までは黒板に書いたり、ノートに書いて発表したりして、少し見にくかったのですが、タブレットではみんなの意見や考えが近くで見られるのでとてもわかりやすいです。前は算数が嫌いだったけど、ICT機器を使って授業を始めてとても楽しく、算数が好きになりました。

平国小 6年
くぼ はるか
久保 遥さん
(福浦)

児童たちも学習に意欲的に取り組むようになりました。



義務教育の『9年間』これは、これから生きるであろう年月と比べると、僅かな時間です。しかし、その9年は貴重な時間であり、子どもたちを大人へと大きく成長させます。ICT教育の充実が子どもたちのこれからの「夢」や「可能性」を広げ、将来の津奈木町を担う大人へと成長させる一つのツールとなるのではないでしょうか？

